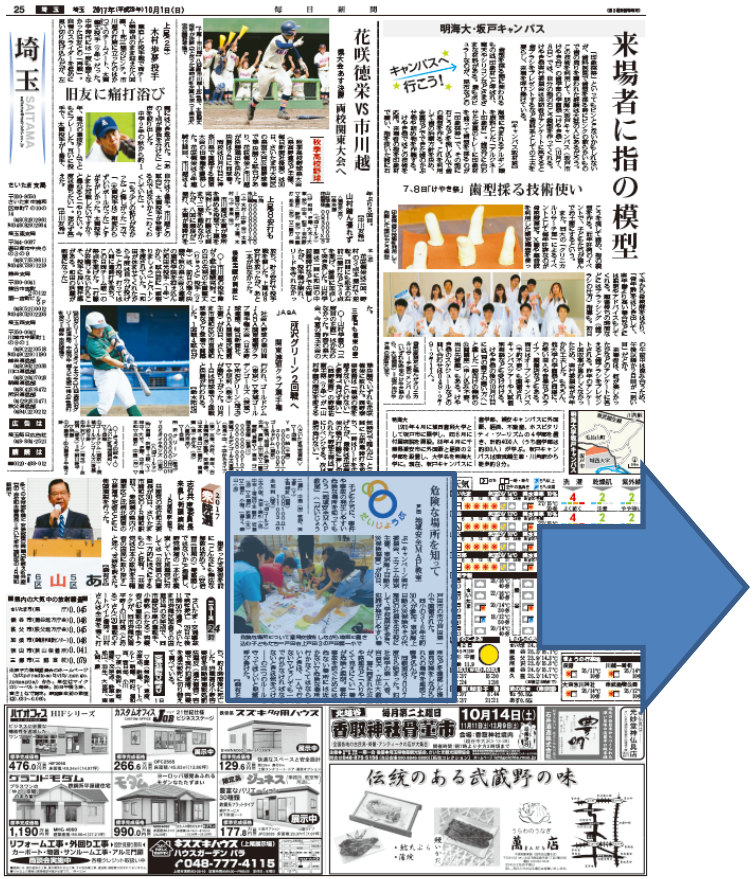

危険な場所を知って

戸田 地域安全MAP教室

子どもたちに、事件や事故の発生しやすい危険な場所を知ってもらう「地域安全MAP教室」（「だいじょうぶ」キャンペーン実行委員会、エフエム東京主催、東京海上日動火災保険協賛）が30日、戸田市の市立戸田第一小で開催された。

同小の3～6年生約30人が参加。東京海上日動火災保険やその代理店の社員を先生役にして、学校周辺を歩き、犯罪が発生しやすい場所などを確認した後、意見交換をしながらそれらの場所を地図上に書き込んだ。

同教室は2007年度から始まった。犯罪社会学の第一人者、小宮信夫・立正大教授が、塀に囲まれた公園や路地など「入りやすくて見えにくい」場所が危険と説明。事件や事故を防ぐためには、危ない場所には近づかない▽危険な場所に行かなくてはならないときは、一人で行かない▽どうしても一人で行かなければならないときは気をつける――の三つのルールを守ってほしいと児童に呼び掛けた。

【森有正】

危険な場所について意見交換をしながら地図に書き込む子どもたち＝戸田市上戸田3の戸田第一小で

2017年10月1日（日）付　毎日新聞　埼玉県版
「地域安全MAP教室」 戸田市立戸田第一小学校実施分　報告記事